令和２年度第４回日進市総合戦略推進委員会　議事録

日　　時	令和３年１月 15 日（金）　午前 10 時から午前 11 時 15 分まで
場　　所	日進市役所本庁舎４階　第２・第３会議室
出 席 者	高木伸治、福安克彦、市川耕一、鵜飼宏成、亀倉正彦、山田慎太郎、三村剛、堀修、小金澤衣里（敬称略）
欠 席 者	高岡俊彦（敬称略）
事 務 局	石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、河合一成（同課市政戦略係長）、犬飼啓貴（同課同係主任）、志水崇法（同課同係主任）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有（3 名）
次　　第	１　開会 ２　あいさつ ３　議題 （1）第１期日進市総合戦略の総括について （2）第２期日進市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略について ４　答申 ５　その他 ６　閉会
配付資料	資料１　第１期日進市総合戦略の進捗管理について（答申案） 資料２　日進市総合戦略総括報告書（案） 資料３　第２期日進市総合戦略の策定について（答申案） 資料４　第２期日進市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 資料５　パブリックコメント実施結果（案）について

	１　開会
	（傍聴者入室）
	２　あいさつ
	３　議題
委　員　長	議題（1）第１期日進市総合戦略の総括について、説明をお願いします。
事　務　局	（資料１に基づき説明）
委　員　長	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。 なお、これまでの課題となっている指標の見直しについては、来年度以降に事務局へお願いしているところです。
委　　　員	指標の件は、課題として来年度以降検討していくこととして、総括報告書の表現で気になる点について、いくつか意見を述べさせていただきます。どのような人にもわかりやすくという視点から、まず、語尾が「必要がある」という

	ような表現が多くあり、どこか他人事のように感じられ、市民からすると印象が良くないと思います。 次に、基本目標２で「目標を高く設定したため達成できていない」との記載がありますが、高い目標を設定したのは自分たちであり、このような表現は適切ではないと思います。 最後に基本目標３で「市民サービスを維持する上で、安定した財源収入を確保するため」という文章がありますが、これは目的が重なっており非常に分かりにくいです。日本語で記載するときは様々な表現があり、日本語に慣れ親しんでいるために、内容を複雑にしてしまうところがあります。社会の多様性も考えると、英語に翻訳するとどのような表現になるか考えると、分かりやすい日本語のスマートな文章になるのではないでしょうか。 意見ですので参考にしていただければと思います。
委　員　長	行政ならではの表現になってしまっているところがあるように見受けられます。今後は表現を修正していく必要があるように思います。 他にご意見はありませんか。それでは、この内容で市長に答申することとしたいと思いますがいかかでしょうか。
委　　　員	（異議なし）
委　員　長	ありがとうございます。それでは、本委員会は第１期日進市総合戦略の進捗管理について、この内容で答申することとします。 次に、議題（2）第２期日進市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略について、事務局から説明をお願いします。
事　務　局	（資料３、４、５に基づき説明）
委　員　長	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお伺いするところですが、まず私から確認したいことがあります。資料５のパブリックコメント実施結果の説明の中で、第２期総合戦略に内容を反映したものは説明をいただきましたが、逆に反映されなかった部分は、どのようにお考えなのでしょうか。
事　務　局	資料５の「市の考え方」に記載のある理由のとおりです。
委　員　長	資料５の「市の考え方」において、総合戦略に反映させるのではなく、他の方法で対応している等の説明を記載しており、意見を無視している訳ではない、ということでよろしいでしょうか。
事　務　局	おっしゃるとおりです。ご意見を無視する意図はありません。
委　　　員	数値目標及びKPIについて、前回の委員会で配布された案には記載されておりませんでした。目標値をどのように設定したのか考え方を教えていただきたいです。
事　務　局	数値目標及びKPIは、前回の会議では示していませんでしたが、12月11日のパブリックコメントの案から数値を示しており、委員の皆様にも送付しているところです。 数値目標及びKPIは、それぞれの所管課が、これまでの実績や、個別の計画

	で定めている目標値を採用しています。
委　　員	数値設定の妥当性等がまだ検討されていないと思います。
事　務　局	答申案にもありますように、これまで、総合戦略推進委員会の場で数値目標及び KPI についてご意見をいただいてきましたが、来年度以降開催する総合戦略推進委員会の中で、指標や目標値の検証をお願いしたいと考えています。
委　員　長	ご指摘はもっともです。おそらく、現時点での目標値は、専門的な人の経験に基づく設定だと思います。これは昔から行政でとられてきた目標値の設定手法だと思います。本来であれば、目標とするまちの姿に近づけるために必要となることは何かをしっかり分析した上で、設定した理由を言語化したほうが良いと思います。しかしながら、今回は時間的な制約の中で、指標についての議論は行えませんでした。数値目標や KPI の設定は、第 1 期総合戦略からの重要な課題と認識しております。幸いに委員の任期は来年度まであるので、今後の進捗管理を進める中で検証していきたいと考えております。 また、これまでの議論の中で、多変量解析が重要だという意見もございました。どんなデータに基づいて指標を設定したのか、どの施策とリンクしているのか、どんな領域で主成分分析を行うと一番効果があるのか、また、そもそも適切な指標となっているかについて、様々な検証を行う必要があると思います。答申案の中にも数値目標及びＫＰＩの妥当性を分析し、見直しを行っていただくよう記載しておりますので、今回は一旦、この内容で承認し、来年度以降にこの課題に取り組んでいくことになろうかと思います。
委　　員	全ての指標について、総合戦略推進委員会の限られた時間で検討していくことは困難だと思います。どれか代表的な事業を選んでケーススタディを行った上で、他の分野に庁内で展開していってはどうでしょうか。効率の良い検証をお願いしたいと考えています。
委　　員	今の意見に賛成です。各主要なテーマ、主要なケースについて、検証を進めていくことがいいかと思います。その検証を進める上で、1 点意見させていただきます。指標については 2 種類に区別する必要があると思います。1 つは昼夜間人口比率といったような客観的な内容となる数値です。もう 1 つは満足度や不満度というような心理的な内容となる数値です。この 2 種類の数値を最初に区分けし、取捨選択していくことが必要だと思います。 また、パブリックコメントを受けて修正された内容で、1 つわかりにくいので、修正していただきたいと考えています。「第 2 部第 1 章第 3 節計画期間」について、内容の修正をしていますが、「ただし、国及び県から第 3 期まち・ひと・しごと創生総合戦略が示され、内容について修正が必要な場合等、適宜見直しを行います。」とした方が、わかりやすいと思います。
委　員　長	オンライン参加の委員からは、何かご意見等ありますでしょうか。
委　　員	特に意見はありません。
委　　員	パブリックコメント実施結果は、公表されることはあるのでしょうか。

事　　務　　局	パブリックコメント実施結果は速やかに公表することとなっております。市ホームページで公表させていただく予定です。
委　　員　　長	他にご意見はございませんか。それでは、この内容で市長に答申することとしたいと思いますがいかがでしょうか。
委　　　　　員	（異議なし）
委　　員　　長	ありがとうございます。それでは、本委員会は第 2 期日進市総合戦略の策定について、この内容で答申することとします。 この後、市長に答申することとしますので、事務局へ進行を戻します。
事　　務　　局	ありがとうございました。今後、事務局において行う誤字脱字をはじめケアレスミスの修正や、新たな意見・データの反映の承認については委員長に一任していただきたいと考えていますので、よろしくお願いします。
	（暫時休憩　市長入室）
	4　答申
事　　務　　局	会議を再開します。 それでは、委員長から市長へ答申をお願いします。
	（委員長が答申書「第 1 期日進市総合戦略の進捗管理について」及び答申書「第２期日進市総合戦略の策定について」を読み上げ、市長へ手交。）
事　　務　　局	答申を受けて市長からあいさつをお願いします。
市　　　　　長	本市が、将来にわたって発展し続け、自立可能でにぎわいのあるまちづくりを進めるためには、総合戦略に掲げた各種施策や事業を推進していく必要があります。 この度、答申をいただくにあたり、多くの時間をかけて総合戦略に係る本市の取組状況について、熱心にご審議いただき、御礼を申し上げます。委員任期が令和 4 年 3 月まであるので、今後は第 2 期日進市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理をお願いします。 また、今回の答申にあったように、数値目標及び KPI の妥当性を分析し、適宜、指標及び施策・事業の見直し等を行い、4 つの基本目標が達成できるようお力をお借りしたいと考えておりますので、今後もよろしくお願いします。
事　　務　　局	それでは、最後に委員長からごあいさつをお願いします。
委　　員　　長	時間的に制約がある中で、パブリックコメントの回答作成など、事務局としても、かなり厳しい計画策定であったかと思われますが、委員からの意見を可能な限り反映し、第 1 期総合戦略の総括及び第 2 期人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略の答申をすることが出来ました。委員の皆様に感謝申し上げます。せっかくこの場で発言させていただくので、この総合戦略推進委員会の今後の取組姿勢を市長にお伝えしたいと思います。 答申にもありますように、第 2 期の総合戦略には、進捗管理に課題も残っています。本当の意味での PDCA を回していくためには、指標や施策の検証を

	行った上で、見直しを行う必要があると思います。この委員会の委員の皆様は意見を積極的に発言していただけますし、様々な議論をしっかり戦わせていくことができております。委員のメンバーも色々な分野にまたがっており、それぞれの仕事や日々の活動などの経験から貴重なご意見をいただけております。特にこの総合戦略は地方創生という意味において、まさに産官学の連携が事業を推進していく上で重要な要因であります。この委員会はその点についても多岐にわたる視点で議論ができると思っております。来年度以降の総合戦略推進委員会でも、日進市民のため、日進市の発展のために、これからも意見を出していきたいと考えています。どうもありがとうございました。
	5　その他
事　務　局	以上で、答申を終了いたします。委員の皆様には、それぞれのご専門やご経験から貴重なご意見をいただきありがとうございました。今年度の本委員会は今回が最終回となります。委員の皆様の任期は 2 年間となっておりますので、来年度も引き続きよろしくお願いします。
	6　閉会